



あいざわ けいいちろう 圭一郎

地域だよりの

Vol.23 H.27.07.01

39歳 走り続ける情熱男！

●向暑の砌、皆様にはご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

去る4月に行われました埼玉県議会議員選挙におきましては、山下勝矢氏（自民党）、美田宗亮氏（無所属県民会議）が当選されました。お二方とも、市議会では21世紀クラブの一員として市政発展のため共に励んできた仲間です。今後は県政から三郷市発展のため、大いに力を奮っていただきたいと思っております。今後のご活躍に期待致します。

●早いもので2期目の当選から折り返しの2年が経過しました。この2年間は、環境安全部・産業振興部・学校教育部・生涯学習部を所管する文教経済常任委員会の委員長として様々な審議をし、時には現場で皆様のお声を聴きながら市政に反映すべく邁進して参りました。8月臨時議会で中間改選となりますが、今後とも三郷の未来に情熱を持って走り続けます。今後とも宜しくご指導の程お願い申し上げます。

●文教経済常任委員会が所管する各担当部の2年間の動き

★環境安全部

市民の安全・安心に寄与するため、環境経済部から独立し環境安全部となりました。

主な新規拡充事業として、三郷駅前広場シェルター等整備事業（現在実施中）、谷中地区・泉地区にゾーン30道路区画線設置、鷹野地区防犯ステーションの設置、地域防災計画・地震ハザードマップの改訂、減災に向けた埼玉自助モデル事業の実施、防災行政無線の更新、合併処理浄化槽転換整備事業、放射能対策事業等を行いました。

★産業振興部

市内産業の発展に力を入れ、賑わいあふれる故郷づくりのために、環境経済部から独立し産業振興部となりました。

主な新規拡充事業として、中小企業経営安定のための資金繰り支援の拡充、サマーフェスティバル花火大会への補助、

観光マップの作成、まっふる三郷の発刊、市内におけるドラマ・CM撮影の誘致、BIG盆（におどり公園での夏のイベント）・肉フェス等、商店会連合会への支援等を行いました。なお、三郷産純米酒「におどり」は2年連続でモンドセレクション金賞を受賞しました。

★学校教育部

日本一の読書のまち宣言をした中で、とりわけ小中学生の読書活動の推進、学力向上5ヵ年計画の推進、授業規律の徹底、道徳教育の推進、親の学習の充実等進めて参りました。全国学力学習調査では、小中学校共に平成24年度から上昇を続けております。小学校については国語・算数共に埼玉県内でもトップクラスの正答率となっています。

教育環境整備については、小中学校耐震化事業・小中学校エアコン設置事業・小中学校トイレ改修事業・新和小学校校舎増築事業・幸房小学校建替事業等がこの2年で進められてきております。

★生涯学習部の動き

市内3図書館4図書室の開館時間延長、市立図書館・郷土資料館の移転新築、図書館における図書購入費の増額及び音楽データベースの導入、早稲田図書館のICタグシステムの導入等生涯学習事業のサービスの向上を図りました。

また、不審者情報メール配信事業、青少年キャンプ事業等青少年関係の新規事業、運動拠点施設の総合的な整備計画策定、勤労者体育館耐震改修事業（今年度実施）等スポーツ関係の新規事業を行いました。

土地・建物 売買仲介 お気軽にご相談下さい
 (公社)埼玉県宅地建物取引業協会
 (公社)全国宅地建物取引業保証協会 宅地建物取引士 逢澤圭一郎
 埼玉県知事免許(1)第22791号

エーアイトラスト株式会社

〒341-0018 三郷市早稲田 2-10-7
 TEL048-951-2210 FAX048-957-8465

逢澤圭一郎と地域をよくする会 <http://www.aizawa-k16.com> office@aizawa-k16.com

341-0018 三郷市早稲田 2-10-7 Tel 957-8462 Fax 957-8465
 会長 竹本裕司 副会長 稲垣栄 谷古宇勇 幹事長 濱口稔 副幹事長 佐藤行義 事務局長 石山義男
 顧問 井上貞夫 宮田茂平 世話人 吉岡貞義(代表) 高濱國治 齋藤博之 杉橋重一 松川文雄 西山忠雄 白石政則 吉岡良男 石井盛一
 逢澤圭一郎と地域をよくする会(後援会)にご入会ください!年会費等は一切かかりません。

一般質問 子育て支援について

◆戸ヶ崎東保育所の民設民営化を！

●戸ヶ崎東保育所は平成 23 年 4 月よりそれまでの公立による運営から、指定管理者による業務委託へと変わりました。公設民営型保育所(敷地・建物は市の所有、運営は民間)として本市においては、はじめての試みでした。

●当初は民間に運営が変わると保育の質が下がるといった意見もありましたが、私は、公立保育所の民営化を当初より訴えておりました。民営化することによる利点としては、大きな財政効果が生まれること、そして、民間による新しい発想とニーズにあったサービスを展開できることといったことがあげられます。

●財政効果がどのくらいあるものなのか。
公設公営保育所 運営費は市が負担
公設民営保育所 運営費は市が負担
民設民営保育所 運営費のうち国 1/2 県 1/4 市 1/4
要するに 3/4 の運営費が国や県から負担されることとなります。
戸ヶ崎東保育所の場合、年間約 4000 万円が削減できます。
ちなみに平成 21 年度は国・県からの負担金は約 3,000 万円、平成 27 年度は予算ベースで約 4 億 8,000 万円を見込んでおります。

●戸ヶ崎東保育所の指定管理としての業務委託の契約は今年度末となっております。第三者機関の調査や保護者の評価も高いとのことですので、現在運営をしている事業者に民設民営の形に切り替えていただくのが望ましいと考えます。

市長答弁

戸ヶ崎東保育所の今後については、安心・安全の保育の充実と多様な保育サービスの充実を図る観点から民営化等を含め検討していく。

◆公立保育所の今後の考え方は？

●平成 22 年度迄は市で運営する保育所が 13 カ所、民間が運営する保育所が 1 カ所でしたが、近年公立保育所の民営化を促進し、今年度も老朽化した保育所(戸ヶ崎・下新田・もみじ)を閉所し、新たに民間保育所が設置されることになっております。来年度からは認定こども園と地域型保育は除きますが、市が運営する保育所が 6 カ所、民間が運営する保育所が 12 カ所となります。しかしながら全ての公立保育所を民営化するのが望ましいとは考えません。今後の在り方について伺います。

子ども未来部長答弁

民間保育所のサービスの充実度は公立を上回る部分もあるが、公立保育所は統合保育を長年実施しており、民間とは異なった保育ニーズに対応するため必要とされている。平成 28 年 4 月現在に存続する公立保育所を基幹保育所として位置づけ、市の保育の責任を果たしていく。

◆私立幼稚園との連携についての考えは？

●子ども子育て支援新制度が開始され、5 年 1 期の計画で待機児童を解消させるということであり、相当数の公立保育所を民営化していくことは大変重要だと思います。しかしながら、私立幼稚園の充足率は 60%であり、まだまだキャパシティがあります。幼稚園の教室が空いているのであれば、本来貴重な資源と捉えるべきであり、活用させていただけるよう進めていくべきではないでしょうか。幼稚園の預かり保育に対して保護

●本市は近年住居系開発が進んだことから、とりわけ現在の保育需要が高いと思われます。しかしながらこの人口上昇もいずれ横ばいになると考えます。作れ作れの施策では 5 年 10 年は大丈夫だとしても、その先少子化が改善されなければ需要も減り、民間の運営が成り立たなくなっていく、そうなれば建物も不要の産物と化してしまうといったことも想定されます。幼稚園との連携をより深めていくことこそが最小の経費で最大の効果を生み出すことに繋がると考えます。

●そこで幼稚園の長時間預かり保育実施に対して人件費相当分の市単独補助を交付することを提案させていただきます。現在、本市の幼稚園は概ね預かり保育を実施されていますが、朝 8 時から夕方 5 時までしくは 6 時までとなっております。しかしながら働くお母さんの中には朝出勤に間に合わない、お迎えに行くのが間に合わないなど幼稚園に行かせたいけれども現状では難しいといった方もいらっしゃると思います。市としてはそれぞれの幼稚園に預かり保育の時間延長に協力していただくためにも、新たな補助金制度を確立すべきと考えます。

市長答弁

幼稚園の長時間預かり保育に対する補助制度の創設については、現行の補助制度を踏まえ検討していく。

子ども未来部長答弁

幼稚園の預かり保育の保護者負担の軽減については、待機児童の状況を踏まえ引き続き調査研究していく。幼稚園に対する補助制度については、幼稚園型認定こども園への移行を促しながらも、埼玉県版預かり保育事業について第一歩として働きかけていく。

◆公立保育所の 0・1・2 歳受入拡大の考えは？

●待機児童は 0・1・2 歳に大きく偏っています。その受入として地域型保育を増やすというのは分かりますが、そのところを民間保育所にプラスして公立が手厚く受け入れる。3 歳からは、民間保育所、認定こども園、預かり保育が充実している幼稚園に担っていただく、こういった形をつくることで、既存の資源をフルに活用することが出来ると思います。それぞれの自治体が新たな発想をして目の前にある課題を解決していかなければならない時代に入ってきているのではないのでしょうか。

子ども未来部長答弁

公立保育所の 0・1・2 歳受入拡充については、待機児童の 8~9 割が 0・1・2 歳であるため効果的であると考えます。しかしながら公立保育所では統合保育を実施している所もあり、統合保育の充実、施設改修、在園児の転園方法などが課題となる。今後検討していく。

◆三郷中央地区に児童館の設置を！

●本市には現在児童厚生施設が、北児童館、早稲田児童センター、南児童センターの 3 施設、また、彦成地域に世代交流館ふれあいパークが子ども達の健全な遊び場、居場所づくりの一環として運営されております。早稲田児童センターについては、年間延べ約 6 万人もの児童が利用しております。三郷中央地区については子どもが多い地域としてこれから 10 年 20 年とあり続けるわけですから需要も高いと考えます。児童厚生施設について、国の補助制度を活用し設置することが望まれます。

市長答弁

児童厚生施設の設置については他の施策も含め総合的に検討していく。